

しまね環境デザインキャンプ

第3回 2025年11月22日（土）～24日（月・祝）

About しまね環境デザインキャンプ

建築学生や若手建築士を対象とした、過疎先端地・島根県内で実施される建築・環境系の滞在型ワークショップです。

「過疎」とされる地域にあえて身を置き、そこにある豊かさ＝“良質な疎”を発見しながら、地域の健康・快適・コミュニティの未来像を都市・建築的に考えます。

環境キャンプの共通テーマは「良質な疎」

参加者募集中！ 募集期間 2025.7.29～10.10

各枠ともに定員20名、定員次第募集終了となります

A 建築ワークショップ参加

建築系大学・大学院・高専の学生及び

建築系社会人（～39歳）が対象

B 運営ボランティア

お世話を焼いてくれる方、

過疎課題を共有しましょう

C 協賛・ご支援枠

企業・団体・個人

Peatixを初めてご利用される際は初回登録をお願いします



申込用QRコード

リピーター割あり！
詳しくはPeatixにて

A：WS参加者

- 参加費 20,000円※
（※宿泊費・食費として）
- 即席MIXチーム
- 前入り・後泊可能
- 男女別大部屋

B 運営ボランティア

- 現地滞在実費
（宿泊費・食費など個別清算）
- 開催イベント参加
- 前入り・後泊可能
- 日帰り可能

C 協賛協力

- 個人応援3,000円
- 企業協賛1万円より
- 振込・直接申込み可
- リクルート/研修に

申込み方法

公式HP <https://peatix.com/event/4485404>

または上部のQRコード読み取り

お問い合わせは env.camp.shimane@gmail.com

Youtubeにて公開中！「しまね環境デザインキャンプ」で検索！

2025 松江のテーマは

水辺と緑をつなぎ未来を耕す
住環境デザイン

松江の特有な水辺環境を踏まえ、熱環境や景観、生態系、さらには人の心理面にも注目しながら「日々の暮らしの中で、自然を感じられる快適な住環境とは何か」を、デザインを通じて解を探ります。科学的根拠と感覚的な体験の両面から多角的に取り組めます。

2025年の舞台は「白潟・宍道湖」



島根県
松江市

ethnography（地域・民俗的調査）

調査指導・監修 梅中 美緒

Unknown MeetsEthnography代表/
建築エスノグラファー/元日建設NAD/
専門：建築・場・仕組みのデザイン



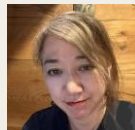
特別講義（過疎分野） 作野 広和

島根大学教育学部教授/過疎研究の第一人者/多くの自治体の過疎実態についてフィールドワーク・研究を実施



調査指導・監修 坪倉 菜水

島根建築士会会長/コクーン設計舎代表/
古き良きものを安全に残して次の時代に繋げてゆく



environment（環境測定・分析）

特別講義（環境分野） 小林 光

東北大学教授/元大成建設シニアアーキテクト/UAPPやSUEP、松田平田設計等と協働/環境デザイン実践研究者



調査指導・監修 谷口 景一郎

スタジオノラ/東京大学准教授/元日建設設計/専門分野：建築意匠・建築環境エンジニアリング・シミュレーション



調査指導・監修 清水 貴史

島根大学准教授/元日本建築総合試験所/専門分野：建築環境工学、音響工学、熱湿気環境、耐火性能、住環境における安全性



About workshop（活動概要）

意匠/環境・横断チームによる提案作成
地域の建築家・研究者と共に、チームごとに聞き取り調査や環境測定から五感で学びます。

公開プレゼンテーション（最終日11/24）

松江市長や地域住民を対象にプレゼンテーション！
3日間で調査から完成までのプロセスを実践します